社会資本総合整備計画
「上石第一地区都市再生整備計画」
【平成26～30年度】
事後評価シート

・上石第一地区都市再生整備計画事業【平成26年度】
・上石第一地区都市再生土地区画整理事業【平成27～30年度】

平成30年12月

埼玉県熊谷市

様式２－１　評価結果のまとめ

都道府県名	埼玉県	市町村名	熊谷市	地区名	上石第一地区
交付期間	平成26年度～平成30年度	事後評価実施時期	平成30年度	交付対象事業費	762百万円

1）事業の実施状況

		事業名	
当初計画に位置づけ、実施した事業	A基幹事業	都市再生整備計画事業	【基幹事業】公園：上石第二公園（仮称）、土地区画整理事業：上石第一地区 【提案事業】まちづくり活動推進事業：国道17号拡幅に係るワークショップ（仮）
	B関連社会資本整備事業	なし	
	C効果促進事業	なし	

		事業名		削除/追加の理由	削除/追加による目標、指標、数値目標への影響
当初計画から削除した事業	A基幹事業	都市再生整備計画事業	公園：上石第二公園（仮称）	社会資本総合整備計画（効果促進事業）に移行したため	影響なし
			まちづくり活動推進事業：国道17号拡幅に係るワークショップ（仮）	社会資本総合整備計画（効果促進事業）に移行したため	影響なし
	B関連社会資本整備事業	なし		－	－
	C効果促進事業	なし		－	－
新たに追加した事業	A基幹事業	都市再生区画整理事業	上石第一地区都市再生土地区画整理事業	都市再生整備計画事業から移行したため	影響なし
	B関連社会資本整備事業	なし		－	－
	C効果促進事業	公園：上石第二公園（仮称）、まちづくり活動推進事業：ワークショップ開催		都市再生整備計画事業から移行したため	影響なし

交付期間の変更	当　初	平成26年度～平成30年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響	－
	変　更	なし		

2）社会資本総合整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況

指標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値 モニタリング	数値 評価値	目標達成度	1年以内の達成見込み		効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期
指標1	定住人口	人	549	H25	580	H30	－	593	○	あり		土地区画整理事業における宅地化が進み、戸建て住宅や集合住宅が新築されたため、居住者数は増加傾向となった。	平成31年4月
										なし			
指標2	まちづくり活動参加者数	人/年	93	H25	150	H30	－	84	×	あり		健康づくり事業は継続して毎年開催された。しかし、計画期間前に立ち上げた「国道17号拡幅に係るワークショップ」については、国道の整備手法を国と継続協議していることから、本計画期間中の開催を見送ったため、目標達成には至らなかった。	平成31年4月
										なし	●		

3）その他の数値指標（当初設定した数値目標以外の指標）による効果発現状況

指標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値 モニタリング	数値 評価値	目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期
その他の数値指標1	ごみゼロ運動実施回数	回/年	1	H25			－	2			地域の清掃活動であるごみゼロ運動は、春秋の年2回継続的に開催され、地域住民活動として定着している。	－

4）定性的な効果発現状況

・地域住民の交流活動は、健康維持活動（グランドゴルフ大会）や清掃活動（ごみゼロ運動）等、多様な範囲にわたって行われている。
・土地区画整理事業により、新たな若い世帯が増加し、子どもも増えて、まちがにぎやかになった。

5）実施過程の評価

	実施内容	実施状況		今後の対応方針等
モニタリング	－	実施した		－
		実施しなかった	●	
住民参加プロセス	健康づくり事業	実施した	●	今後も継続して健康づくりのイベントを開催する。
		実施しなかった		
持続的なまちづくり体制の構築	－	実施した		－
		実施しなかった	●	

様式２－２　地区の概要

上石第一地区（埼玉県熊谷市）　社会資本総合整備計画の成果概要

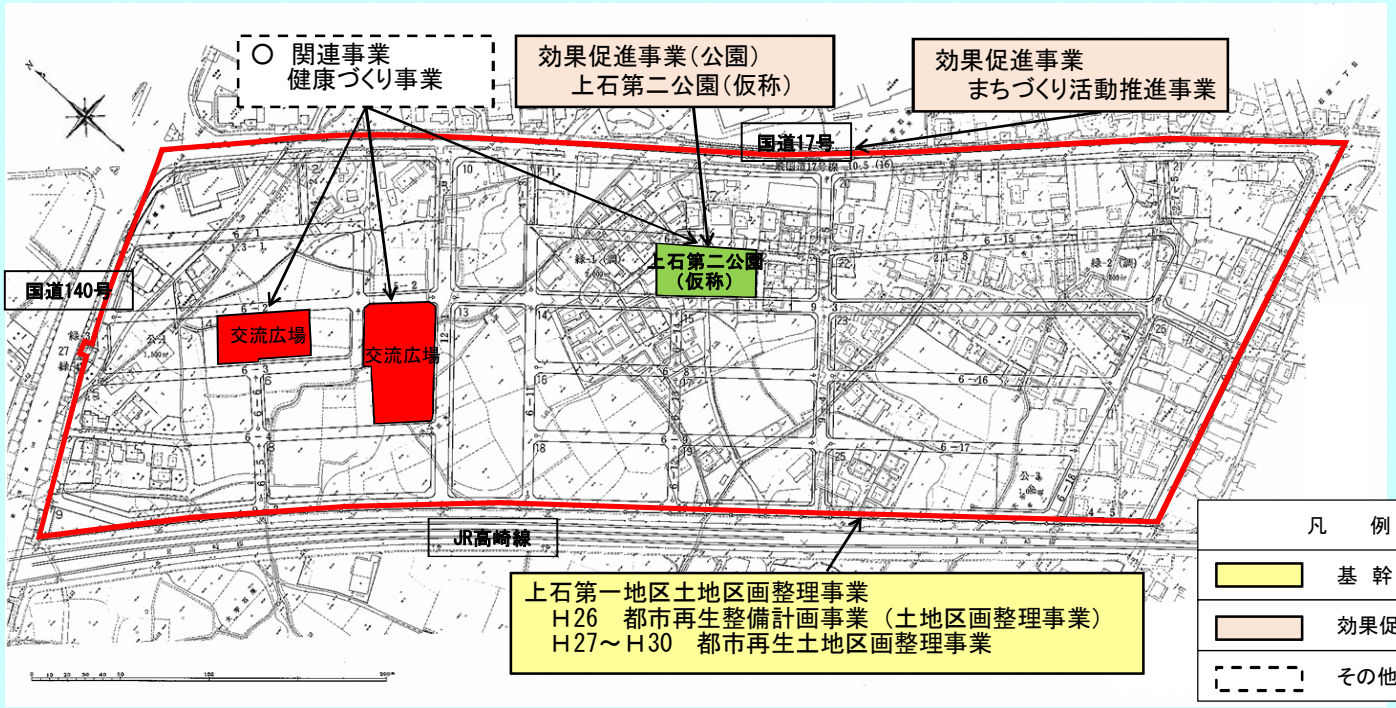
まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標：地域住民による安全・安心・快適なまちづくり 小目標①　都市基盤整備による住環境の快適性の向上を図る。 小目標②　地域住民主体のまちづくりを図る。	定住人口	単位：人	549	H25	580	H30	593	H30
	まちづくり活動参加者数	単位：人／年	93	H25	150	H30	84	H30
	ごみゼロ運動実施回数	単位：回／年	1	H25	－	－	2	H30
	－	単位：　－	－	－	－	－	－	－
	－	単位：　－	－	－	－	－	－	－



道路（整備前）



道路（整備後）



まちの課題の変化	北西部を中心に未整備箇所が多かったが、土地区画整理事業における計画的な都市基盤施設の整備により、良好な住宅地が形成された。 地域住民の交流の輪を広げる必要があったが、継続的なイベントの開催により、地域交流が行われている。 また、地域活動の内容が多様化し、地域住民の交流の機会が活発化した。
今後のまちづくりの方策 （改善策を含む）	良好な居住環境の向上や維持として、土地区画整理事業により、新たな道路や公園等の都市基盤施設を整備する。また、地域住民による水路や公園等の維持管理を実施する。 地域の交流活動の活性化として、事業前からの住民と新たな住民との交流活動を推進する。さらに、幅広い世代を対象とした、多様な交流活動を推進する。